

第2回鹿児島市観光未来戦略総合会議 議事録

1 開催概要

開催日時：令和8年8月26日（水）14時00分～15時34分

開催場所：ソーホーかごしまA・B会議室

内 容：1 開会

2 あいさつ

3 第5期観光未来戦略の策定について

（1）第1回総合会議における主な意見と対応方針について

（2）第5期戦略における重点課題等について

（本市観光の課題の整理、重点的に取り組むべき事項について等）

4 その他

5 閉会

出席者：出席者一覧（2頁）のとおり

2 委員発言要旨

- 事務局から提示した「第5期観光未来戦略において重点的に取り組むべき事項」の方向性をもとに、次回以降の会議において、重点プロジェクトに関する議論の掘り下げ（重点的に取り組むべき事項のまとめに至るシナリオの整理、リソース配分等）や成果目標、個別施策等に関する議論を行っていくこととなった。

〈今後の検討の進め方等に対する委員意見〉

- ・ 「インバウンド誘客が遅れている」、「桜島で消費が生まれていない」といった現状については、なぜそうなっているのかという原因分析が重要。
- ・ 重点事項で掲げるインバウンドやMICEについて、なぜ取り組むのかという目的や意義を明確にしたうえで、何を強みとして打ち出していくのかと示す必要がある。
- ・ 重点プロジェクトだけでなく、まず戦略全体の方向性や体系を示し、その中で重点的に取り組む事項を位置付けたほうが議論しやすい。

〈個別の施策等に対する意見〉

- ・ 鹿児島市は県内宿泊の約5割を占めているが、ナイトライフなど夜間の魅力創出は遅れている。
- ・ 桜島大根などの地域資源を活用した食の体験型ツアーの造成や、魚類市場等をもっと開かれた形で観光資源として活用することで、新たな鹿児島の魅力を発信できるのではないかと。
- ・ コンサートやスポーツイベントなど集客力の高い催事を誘致し、人が集まる魅力を高めるべき。
- ・ 欧米豪からの旅行者を鹿児島市内で見かける機会が増えており、今後はこうした市場の拡大を見据えた受入環境整備や誘客施策を進める必要があるとともに、直行便については、上海線・香港線の回復状況を注視しつつ、現在運航している韓国線に重点を置く必要もあるのでは。

【出席者一覧】

(敬称略)

No	所属	総合会議	
		役職	委員
1	鹿児島市	副市長 【会長】	中西 則文
2	鹿児島県観光・文化スポーツ部	部長	森代 敦彦 【代理出席】 県観光・文化スポーツ部 次長 西 博夫
3	公益社団法人鹿児島県観光連盟	専務理事	橋本 宏幸
4	鹿児島商工会議所	会頭	岩崎 芳太郎 【欠席】
5	公益財団法人 鹿児島県観光コンベンション協会	専務理事 【副会長】	池田 哲也
6	鹿児島市ホテル旅館組合	理事長	瀬村 文一郎
7	公益社団法人鹿児島県特産品協会	事務局長	津田 知久 【欠席】
8	公益社団法人鹿児島青年会議所	理事長	東條 清明
9	公益社団法人鹿児島県バス協会	副会長	岩切 俊一
10	鹿児島市タクシー協会	会長	迫田 省三
11	鹿児島県飲食業生活衛生同業組合	理事長	肥田木 康正
12	鹿児島県漁業協同組合連合会	代表理事専務	宮内 和一郎 【欠席】
13	鹿児島みらい農業協同組合	代表理事組合長	井手上 貴
14	鹿児島市社交業組合	理事長	中田 恵美子
15	公尊委員	-	奈良迫 英光
16	公尊委員	-	白坂 直由美
17	公尊委員	-	盛永 知那
18	公尊委員	-	野田 洋一郎

■ 総合会議 臨時委員

1	(株)リクルート ジャーナルリサーチセンター 主席研究員	森戸 香奈子
2	(株)やまごころ 九州支部マネージャー (株)イン・アウトツーリズム研究所 代表取締役	帆足 千恵

■ 鹿児島市観光未来戦略アドバイザー

1	JTIC SWISS 代表	山田 桂一郎
---	---------------	--------